様式第２（第４条関係）

【書類名】　　審査請求料軽減申請書（産業技術力強化法）

（【提出日】　　平成　　年　　月　　日）

【あて先】　　特許庁長官　　殿

【出願の表示】

　【出願番号】

【申請人】

　【識別番号】

　【住所又は居所】

　【氏名又は名称】

【代理人】

　【識別番号】

　【住所又は居所】

　【氏名又は名称】

【申請の理由】

【提出物件の目録】

〔備考〕

１　「【出願の表示】」の欄の「【出願番号】」には、「特願○○○○－○○○○○○」のように特許出願の番号を記載する。ただし、出願の番号が通知されていないときは「【出願番号】」を「【出願日】」とし、「平成何年何月何日提出の特許願」のように特許出願の年月日を記載し、「【出願日】」の次に「【整理番号】」の欄を設けて、当該出願の願書に記載した整理番号を記載する。また、国際特許出願について、出願の番号が通知されていないときは「【出願番号】」を「【国際出願番号】」とし、「ＰＣＴ／○○○○／○○○○○」のように国際出願番号を記載する。

２　「【申請の理由】」の欄には、「審査請求料の軽減（産業技術力強化法施行令第１条の２第２号イ）」、「審査請求料の軽減（産業技術力強化法施行令第１条の２第２号ロ）」、「審査請求料の軽減（産業技術力強化法施行令第６条第１号）」又は「審査請求料の軽減（産業技術力強化法施行令第６条第２号）」のように記載する。

３　第１条の３第３項の規定により、２以上の申請に係る申請書を一の書面で作成するときは、「【出願番号】」の欄に、「別紙のとおり」と記載し、別の用紙に次のように「【別紙】」と記載して、当該申請に係る出願番号を記載する。

　【別紙】

　特願○○○○－○○○○○○

　特願○○○○－○○○○○○

　ただし、出願の番号が通知されていないときは、「平成何年何月何日提出の特許願」のように特許出願の年月日を記載し、その次に、当該出願の願書に記載した整理番号

を記載する。また、国際特許出願について、出願の番号が通知されていないときは、「ＰＣＴ／〇〇〇〇／〇〇〇〇〇」のように国際出願番号を記載する。

４　その他は、様式１の備考１から３まで、備考５から 13 まで、備考 15 及び備考 17 から 21 までと同様とする。